

マダニにかまれないよう注意しましょう!

予防のポイント

- ・草むらや、やぶなどに入る場合には長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくする。
- ・野外活動後はダニにかまれていないか確認する。
- ・吸血中のマダニに気付いた際には、医療機関で処置してください。

マダニの活動が活発になるのは、これから秋にかけてです。
森林、草むら、やぶ等に入る場合には十分注意することが必要です。

マダニにかまれたことにより感染する病気

マダニにかまれた後、下記の症状があった場合は、早めに医療機関を受診してください。

- ・ **重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**
SFTSウイルスを保有しているマダニにかまれることにより感染する病気。主な症状は発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)で、重症化し、死亡することもある。感染してから6日～2週間で発症する。
- ・ **日本紅斑熱**
感染してから2～10日で発症する。
主な症状は発熱(高熱)や頭痛、関節痛、体幹部や手足の発疹・死亡することもある。

※マダニではないが、ダニの一種であるツツガムシによって媒介されるつづが虫病などもある。症状は日本紅斑熱とよく似ており、感染してから5日～2週間ぐらいで発症する。



※マダニ(写真は、フタゲチマダニ):主に草むらや、やぶなどに全国的に生息している、体長3～4mmの比較的大型のダニです。家庭内の食品や衣類・寝具等に生息するダニとは種類が異なります。



【相談先】

保健所名	電話番号
松江保健所	0852-23-1317
雲南保健所	0854-42-9515
出雲保健所	0853-21-1185
県央保健所	0854-84-9805
浜田保健所	0855-29-5556
益田保健所	0856-31-9552
隠岐保健所(島後)	08512-2-9715
隠岐保健所(島前)	08514-7-8121